

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンターゆらの里

作成者: 家澤浩司

作成日: 2024年 1月 4日

運営推進会議における評価実施日: 2024年 2月 14日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

| No. | タイトル | 評価項目 | 事業所自己評価 | 記述 | 運営推進会議における外部評価 | 記述 |
|--------------------------|--------------------|---|---------|---|----------------|--|
| I. 理念・安心と安全に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | B | 毎日申し送り時に読んでいるが、その場に出ない勤務もある。各ユニットに掲示している。 | | |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している | C | インフルエンザクラスター発生やボランティアの方がコロナだったりとなかなかオープンにできない。ゆらの里通達の配布、文化祭等間接的な発信はしている。民生委員さん消防訓練参加頂いた | | |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | B | 今年度は2ヶ月に1度開催出来ている。 | | |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | C | 連絡を密に取れているかという？だが、就職フェアは参加させて頂いた。 | | |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | B | 定期的に職員研修に取り入れられたり、虐待防止委員会の開催にて意識の向上に努めている。 | A | 4月、2月の2回研修に取り組まれている。エプロンの件、ベッド柵の件があったが改善されている。グレーな場合も家族さんに了承を得ている。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | B | 高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法を定期的に職員研修に取り入れ、意識の向上に努めている。 | A | 4月、2月の2回研修に取り組まれている。エプロンの件、ベッド柵の件があったが改善されている。グレーな場合も家族さんに了承を得ている。 |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | B | 現場には関係が少ないが研修に取り入れることを検討する。 | | |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | B | 契約前には重要事項説明書を読み込んで理解し、説明後同意書を頂いている。 | | |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | B | 苦情受付窓口を契約時に説明している。不定期だが本社より家族様にアンケートを実施している。 | A | よく電話で様子を伝えて頂いているので希望も言いやすいです。アンケートを職員にも周知しては？ |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | C | 慢性的な人員不足があるが、上手くいかないのが現状。 | | |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | C | 給与については研修や資格によって上がっていく制度があるが、少ないと聞くこともある。勤務時間等は職員の希望で決めている。 | C | 事業所の努力で改善出来ることはされているが、ニチイ本体がC評価。国も考えないといけない。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | B | 府や市から研修の案内が来るので職員に勧めたり、職員研修にてケアのノウハウを勉強等している。 | A | 実践者研修に参加されたり、事例検討会で発表されている。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | C | 西部圏域事業所連携会議には参加させて頂いたが、それ以外は難しい。 | | |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | B | 理念に「馴染みの人との暮らしを共に作る」という箇所があり、意識している。 | | |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | B | 今年度は面会が緩和され、実施している。正月には外泊もされた。 | | |

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンターゆらの里

作成者: 家澤浩司

作成日: 2024年 1月 4日

運営推進会議における評価実施日: 2024年 2月 14日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

| No. | タイトル | 評価項目 | 事業所 自己評価 | 記述 | 運営推進会議 における 外部評価 | 記述 |
|-------------------------------------|----------------------|--|-------------|---|------------------------|--|
| II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | B | 一人一人、出来る事、したいことを把握し、実現出来る様努めている。 | | |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | B | 変化があった場合、家族様や職員と話し合い、都度検討している。 | A | 電話で様子を知らせて下さっています。訪問リハビリも行っている。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | B | 常時個別記録に変化等記入、会議等で共有、援助方法を検討している。 | A | 記録に細かく記入がされている。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | B | 入院後や状態が変わった時等訪問看護やリハビリステーションに相談、実地指導して頂いている。 | | |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | B | 訪問診療、訪問看護、訪問歯科、訪問理美容、等は継続して来て頂いている。 | | |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | B | 本人様や家族様と相談の上、訪問診療や市立病院への通院を行っている。 | | |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | B | 訪問看護様は週1回の訪問、24時間の相談可能、市立病院へ定期的な通院や入院時の対応は行っている。 | A | 入院時日々の記録を提出、退院前のリハビリ見学や今後の方針の相談等。退院時訪問リハビリに来て頂いたりしている。 |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | B | 症状の変化に伴い、家族様に連絡、相談を行っている。終末期は症状に応じて密な相談の上当施設や市立病院にて看取り実績あり。 | A | 本人の意思確認は難しいと思います。十分出来ていると思います。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | C | 医療行為は出来ないのので上司や訪問看護様に連絡、指示を仰ぐ様になっている。 | | |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | B | 当施設設立10年間に渡って継続して年2回避難訓練を行い、新規職員には入社時に説明は行っている。 | A | 計画、報告されている。去年参加させて頂きました。 |

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンターゆらの里

作成者: 家澤浩司

作成日: 2024年 1月 4日

運営推進会議における評価実施日: 2024年 2月 14日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

| No. | タイトル | 評価項目 | 事業所 自己評価 | 記述 | 運営推進会議 における 外部評価 | 記述 |
|--------------------------|--------------------|--|-------------|---|------------------------|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | B | 職員研修にて利用者様への対応の仕方等定期的に行っている。 | A | 認知症ケアや接遇マナーが職員研修に取り入れられている。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | B | 基本的には好きな様に過ごして頂いている。趣味や創作物、家事などもお願いしている。 | | |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | B | 各利用者様の状態や好みを理解し、提供している。片付けも可能な利用者様をお願いして行っている。 | A | お誕生日用のメニューがあった。利用者さんと食事の片づけされていた。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | B | 食事量、おやつ、水分量を記録し、夜勤者が合計し、記録している。少ない方は看護師等と食事形態を検討、実施している。 | | |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | B | 難しい方もおられるが、その人に応じた声掛けや介助を行っている。週1回訪問歯科があるので相談も行っている。 | A | 毎週訪問歯科、口腔ケアされている。利用者さんに応じて朝、寝る前はケアされている。 |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | B | 排泄の記録を元に訪問看護様等と相談し、適切な介助や服薬を検討、実施している。 | A | よく相談頂いています。 |
| 32 | 入浴を楽しむことのできる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | C | お風呂が好きな方や嫌いな方がおられるが、均等に入れる様支援している。 | | |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | B | 昼寝が習慣の方には休んで頂いている。眠そうな方には促している。 | | |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | B | 服薬用のファイルにそれぞれのお薬の種類を添付して見られる様になっている。特にお薬が変更になった時は効き過ぎや副作用を観察する様にしている。 | A | お薬の説明用紙がお薬と一緒にファイリングされている。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | B | その方がしたい事を把握し、危険の無い様にして頂いている。 | | |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | C | 日常的な外出は現実的ではないが、1度家族様のコンサートに利用者様をお連れした。 | | |
| 37 | お金の所持や使うことのできる支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | D | 事務所で管理しているので利用者様がお金を持つことは無い。 | | |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | B | 希望があれば実施している。自ら自分の携帯で電話される方もおられる。 | | |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | B | 各お部屋やトイレ、浴室等分りやすく表示している。テーブルや椅子にも名前を貼り、分り易くしている。毎月季節に応じた壁紙を利用者様と作成し、季節感を表現している。 | A | ゆらの里通信から楽しそうな様子が読み取れますね。 |

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンターゆらの里

作成者: 家澤浩司

作成日: 2024年 1月 4日

運営推進会議における評価実施日: 2024年 2月 14日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

| No. | タイトル | 評価項目 | 事業所自己評価 | 記述 | 運営推進会議における外部評価 | 記述 |
|--------------------------------------|-----------|---|---------|---|----------------|---------------------------------------|
| IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目 (利用者一人ひとりの確認項目) | | | | | | |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | B | それぞれ「〇〇するで」「〇〇させて」と言われることがあり、危険が無い範囲でして頂いている。 | | |
| 41 | | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | B | 会議等で基本情報として共有している。 | | |
| 42 | | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | B | 日々の記録や観察を元に検討、実施している。 | A | 細かく記録があり、よく検討実施されている。 |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | B | 寝る、起きるが早い方や遅い方がおられるので本人任せではあるが昼夜逆転等しない様には気を付けている。 | | |
| 44 | | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている | B | 利用者様によって出来ていたり出来ていなかったりではあるが、入居時等家族様をお願いしている。 | A | 利用者さんの状況に応じて対応されている。 |
| 45 | | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている | C | 日常的な外出は現実的ではないが、初盆に自宅に帰られたり、コンサートに出かけられたり出来た。 | | |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | B | 利用者様が出来る事、したい事を一人一人把握し、それぞれに応じた事をして頂いている。 | | |
| 47 | | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | B | その人なりの生活が出来、楽しく会話や生活出来る様検討、実施している。 | A | ゆらの里通信を見ればよくわかります。 |
| 48 | | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | C | 今年度はイベントにボランティアさんに来て頂いたりしたが、帰られた後「コロナでした」と言われたことがあった。 | | |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHIに在ること、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | B | 地域のお祭りで神輿や獅子舞さんに頭をかんで頂いたりも出来た。職員と馴染みの関係になって日々過ごして頂いている。 | A | 文化祭出展や避難訓練に参加させて頂いたり、地域との繋がりはあると思います。 |

総評

・自己評価が低すぎる印象。職員の自己肯定感が少ない。
自信を持って良いと思います。
・ゆらの里通信では利用者さんが生き活きされている様子がよくわかります
この通信を見るだけで普段の様子が読み取れ、手書きがあたかくて良い。
・厳しい人員の中でよく対応されていると思います。

現状におけるご指摘事項・事業所の課題

・ニチイ本体の問題。法人全体として職員を守ってくれていない印象を持つ。

参加者サイン欄

大槻 東洋 大槻 邦子 石角 英子 岡田 留美 井田 佳代子
小林 修 大槻 昌代